

**こども若者★いけんぷらす
いけんひろば**

～こども家庭庁予算について～

報告資料

**令和5年9月22日（オンライン開催）
2023年度『こども若者★いけんぷらす』事業**

開催概要

テーマ	こども家庭庁予算について
担当省庁	こども家庭庁
開催日時	令和5年9月22日（金）18:00～20:00ごろ
開催場所	Webex（オンライン）
テーマの中身 （詳細は次ページ）	<p>○A・Bテーマ共通</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 概算要求全体像 <p>○Aテーマ</p> <ol style="list-style-type: none"> 2. こどもの居場所支援 3. こども食堂支援 <p>○Bテーマ</p> <ol style="list-style-type: none"> 4. こども政策DX 5. こどもデータ連携
参加対象者	<p>○Aテーマを話すグループ ぷらすメンバーのうち、小学生年代～高校生年代</p> <p>○Bテーマを話すグループ ぷらすメンバーのうち、高校生年代以上</p>
参加人数／グループ数	<p>○Aテーマを話すグループ 10名 / 2グループ</p> <p>○Bテーマを話すグループ 14名 / 3グループ</p>

テーマの詳細

#	テーマ		項目	質問内容
	A	B		
1	●	●	概算要求全体像	<ul style="list-style-type: none"> こども家庭庁予算は、4.8兆円となっていますが、みなさんのために使われている実感はありますか。 こども家庭庁の予算でやっている事業を知ってもらうために、どのような取り組みが必要だと思いますか。 こども家庭庁では、今後、こども未来戦略方針に沿って、こども予算の充実に取り組むこととしていますが、こうした方向性についてどう思いますか。
2	●		こどもの居場所支援	<ul style="list-style-type: none"> 広報啓発に関して、どのような広報であれば、効果的だと思いますか。 みなさんはこどもの居場所を増やしていくために、国としてどのような支援があると良いと思いますか。
3	●		こども食堂支援	<ul style="list-style-type: none"> こども食堂を知っていますか。 実際に、こども食堂に行ったことはありますか。 こども食堂は、どのような場所にあると行きやすいですか。 どのようなものが必要ですか。（どのようなものが配布されると良いですか。）
4		●	こども政策DX	<p>①自治体のDX推進について</p> <ul style="list-style-type: none"> 市役所や区役所の手続きは、手書きで行う手続きがまだ多くあります。デジタル化やオンライン化などのDXを進めるためには、何が重要だと思いますか。 <p>②こどもDX見本市について</p> <ul style="list-style-type: none"> これまで、お父さん・お母さん・先生などが、手続き等で大変そうにしている様子を見たことがある人いると思います。どのようなサービスがあったらお父さん・お母さん・先生などが助かると思いますか？ DX見本市にどのようなセミナーやイベントがあったら、盛り上がると思いますか？
5		●	こどもデータ連携	<ul style="list-style-type: none"> みなさんは生活で困ったことがあったときに周りのおとなに相談したくてもできないと感じたことはありますか？ いじめや不登校、虐待で困ったときに相談できる機関が地域にあることを知っていますか？ ※児童相談所、こども家庭総合支援拠点、こども家庭センター など 地域の相談機関などが持っているデータを連携してS O Sを出せないこどもや家庭に支援を届ける取組についてどう思いますか？

目次

1. 概算要求全体像
2. こどもの居場所支援
3. こども食堂支援
4. こども政策DX
 - ①自治体のDX推進について
 - ②こどもDX見本市について
5. こどもデータ連携



資料についての補足

各意見について、カッコ書きで該当の意見がでていたグループの構成年代を掲載しています。

本いけんひろばでは参加者を以下の5つのグループに分け、意見交換を行いました。

- 1班：小学生／5人（Aテーマ）
- 2班：中学生～高校生／5人（Aテーマ）
- 3班：高校生～大学生／5人（Bテーマ）
- 4班：大学生～社会人／5人（Bテーマ）
- 5班：社会人／4人（Bテーマ）

1. 概算要求全体像 (1/7)

- こども家庭庁予算は、4.8兆円となっていますが、みなさんのために使われている実感はありますか。

小中学生

4.8兆円が自分たちのために使われている**実感はない**。保育園や学童のために予算が使われていることは、今回のいけんひろばの事前勉強会で初めて知った。

4.8兆円が自分たちのために使われている**実感はない**。お金を管理しているのはお母さんだから。児童手当は、お母さんにとっては身近かもしれない。

学校などで、こども家庭庁が活動しているといった話があがってこないし、いけんひろばについてもこども家庭庁のイベントを通じて知った。もう少し時間が経ったら実感できるかもしれない。

中高生

実感はないが、中学生とかに月1万円給付しているというニュースを聞いた。嬉しい。

今回資料でもらった「こども未来戦略方針マップ」を見て、お金が使われているんだなと思ったが、自分に直接使われていると思ったことはない。

小学校では教科書が無償で提供されるため自分にお金が使われている実感がわくが、給付金は銀行に振り込まれているだけで身近ではないため、直接的に届くものや普段使うものにお金を使ってもらえると実感がわくと思う。

高校生・大学生世代

大学生になってから福祉について学ぶことで初めて「ここに予算が使われているのだな」と知った。予算の使い道について、学校の授業など身近での周知が必要だと思う。

高校1年生の履修科目で社会科を選択しない限り、こども家庭庁について知る機会はないと思う。

こども家庭庁自体が認知されていないので、もっと周知していいと思う。学校で社会の授業を担当している先生が国について詳しく、こども基本法などの話もしてくれた。

放課後児童クラブと保育所のどちらにも関わったことがなかったことを考えると、全てのこどもに予算が割かれているのかは疑問だなと思った。こども家庭庁が予算の使い方についてもっと説明してくれればいいと思う。

学校においてこども家庭庁などについて知る機会があることが必要だが、教えられる生徒の側からすると、うるさく感じるかもしれない。学校内外での雑談などフランクな形でこども家庭庁について知ることができるきっかけがあるといい。

高校の授業料無償化がされたとき、私自身が手続きをしていて、授業料を国の予算でまかなってもらっているんだなと思った。そういった経験がない人は、予算が自分のために使われていることを**実感する機会がない**と思う。

親が給付金の利用申し込をしており、学校から承認通知を受け取ったことで初めて予算が使われていることを感じた。目に見える形で直接お金を渡されることがなければ、実感はわからないと思う。奨学金にもっと予算を充てるなど、変えていったほうがいいと思う。

1. 概算要求全体像 (2/7)

- こども家庭庁予算は、4.8兆円となっていますが、みなさんのために使われている実感はありますか。

大学生世代～社会人

政府が**少子化対策に総力を挙げていることは知っている**。自分は大学の授業料減免を使っていないが、教育に関わる内容をもっと手厚く進めた方が、少子化対策の解決につながると思う。



社会人

自分の市は児童クラブの**予算を頑張って確保しているが、求めているところずれている**。田舎には人がおらず、人を育てる教育や研修もできない。ICTに特化した県の人を1か月だけでも派遣してほしい。

保育所の予算について、**分かりやすい加算の仕組みにしてくれた方が申請しやすい**。

村に保育所が1つしかなく、国の定めた必要な**保育士が足りていない**状況であり、こどもが待機児童になっている。

所得制限があるだけでこどもを持つことのやる気がそがれるので、**制限をなくしてほしい**。

幼少期に引っ越しが多く、地域差を感じたので、**保育の地域差を解消してほしい**。

住んでいる市町村に**産科がなく**、産科に行くのに1時間かかり、大変。

私の地域では高速道路を使って30分以内で産科にアクセスできるので、間に合っている。



1. 概算要求全体像 (3/7)

- こども家庭庁の予算でやっている事業を知ってもらうために、どのような取り組みが必要だと思いますか。

小中学生

学校や役所に**チラシ**を置くのが良いと思う。

YouTubeやTikTokのスキップができない**広告**に載せるのが良いと思う。

学校で個人にプリントを配るのがよいと思う。実際に**学校で配付**された文部科学省についてのプリントを持っている。

こども家庭庁の**カラフルなイラストや写真**をチラシに掲載して「こどもの意見を集めています。あなたも参加してみませんか？」というのが良いと思う。

身近なところで予算を使って何かを企画して、この事業はこども家庭庁がやっていると伝えると良いと思う。

保育園に通っているこども向けの施策を行えば、**親同士で情報が広まる**のではないかな。

中高生

給付金の使い道についてアンケートを取ってみて、その結果をこどもも大人も確認してはどうか。

予算は限られているため、有効に使うことが大事だと思う。この目的のためにいくら予算を使って、こんな活動をしていますよ、と**戦略的に広報**することで、大人もこどもも政策を理解できるようになると思う。

高校生・大学生世代

今こども家庭庁が行っている政策のほとんどは、幼少期のこども向けであり、保護者は政策について知っていても、**実際のこどもは知らない**。大学の授業料の無償化など、**こどもたちが教育を自由に選択できるような政策**をとれば、知名度を獲得できると思う。

大学の無償化など、**思い切ったことをすれば取組の認知度は上がる**と思う。ただ、大学の授業料が無償化されると私立大学の人気が高まり、国立大学がつぶれるというような話をしていたため、**必ずしもお金をまけばよいという訳ではない**と思う。



SNSは広報の手段として外せないと思う。朝のテレビニュースなどで広報してもらおうことが、一番分かりやすいのではないかなと思う。

民間テレビ局の番組に総理大臣が出演していたが、そのような形で広報をしたら観てくれる人が増えるのではないかな。電車の中の**デジタル広告や目立つ広告**を色々なところに貼ったりするのも良い。



1. 概算要求全体像（4/7）

- こども家庭庁の予算でやっている事業を知ってもらうために、どのような取り組みが必要だと思いますか。

大学生世代～社会人

こども家庭庁が何をしているかは**こどもの頃から知ってもらう必要がある**ため、こどもに焦点を充てていく必要があると思う。

こどもにまつわることは文部科学省や厚生労働省も扱っていると思うが、**どこの部署が具体的に進めているのかわからない**。こども家庭庁という観点ではなおさらよくわからない。

予算の4.8兆円というのはかなり大きな金額だと思う。こどものために予算が使われている実感を持つには、**こどもを育てる側の人に、児童手当や出産手当などの各種制度をもっと発信していく**が必要だと思う。自分たちの世代が知ることで、こどもたち世代に伝えられると思う。

社会人

YouTubeを面白くして活用するのはどうか。

農林水産省のバズマップは面白かった。今まで興味がない分野であったが、あれがきっかけで見えるようになった。

こども未来戦略方針マップが目に見える形であると安心する。ぎりぎりの状態になったらここで助けってもらえるとわかるので、もっと広報した方が良いと思う。

Instagramをみたが、国の方は積極的な発信をして意欲的であることを初めて知った。今後は国の方だけでなく、**県や市の職員の方々とも話す機会や教えてもらう機会が欲しい**。



1. 概算要求全体像 (5/7)

- こども家庭庁では、今後、こども未来戦略方針に沿って、こども予算の充実に取り組むこととしていますが、こうした方向性についてどう思いますか。

小中学生

こども未来戦略方針に沿ってこども予算の充実に取り組むことについて「こどもまんなか」という考え方は素晴らしいが、こども一人一人に向き合うのは本当に難しい。

自分は小学生で、未来戦略マップには高校生の年代まで色々書いてあるため、あまり想像ができない。

自分は元々いじめられっ子だったが、対応しない学校があるようなので、対応しない学校の教師の教育が大切。

市民に聞き込み調査をして、今書かれていない戦略が出てくれば、それをやってみるといいのではないかな。

学校とこども家庭庁をオンラインで繋げたら、意見を話しやすかった。

学校のクラスの中が一番言いやすいと思う。仲良しの友達もいるから。

暴力・いじめがない学校がいいと思う。



中高生

少子化が進んでいる中で、子育ての経済的負担がこどもを産まない一番の理由に挙がっており、**所得制限のあり方を今後よく考えていく必要がある**と思う。

こどもにお金がかかる大きな理由の1つとして、こどもの塾の費用があるが、**塾なしで高校や大学に進学出来たら、親の負担が軽くなる**と思う。

給食費が無料になると、親の負担が少なくなる。東京都港区では、来年の中学3年生はシンガポールに行くことになっているが、そのお金を他のお金のない区に寄付して給食費を無償にすることはできないのか。

給食費やこどもの医療費の無償化は、市町村が独自で進めているが、これらの無償化を国主体で行うことは難しいのか。



1. 概算要求全体像 (6/7)

- こども家庭庁では、今後、こども未来戦略方針に沿って、こども予算の充実に取り組むこととしていますが、こうした方向性についてどう思いますか。

高校生・大学生世代

こどもを育てている家庭の支援に重点があるが、最近ではこどもを産まずに
独身で生活する人も多いと思うので、そういった人も取り残さずにする社会
づくりをしたい。

奨学金のお金を借りることで「返さなければいけない」という気持ちになり、
自分の負担が目に見える。**中学生などの進路を決める時期から、奨学
金について、学ぶ機会があるといい。**経済的な支援をすることによってこ
どもを産みやすい環境になる。

こどもの支援といっても、予算は小さいこども（0～5歳くらい）を対象にし
ているのかなと思った。高校生になってからのほうが、よりお金がかかっていると
のことだったので、**18歳になるまでの期間全体を考えた支援が重要。**

こども未来戦略方針には「今年度から出産育児一時金の引き上げ」とある
一方で、高等教育の支援拡充については今年度や来年度の見込に含ま
れていない。**高校や大学生を対象とした支援があまりにも少ないように
思う。**

こども・高校生の支援だけでなく、それに付随する**教育機関で働く人々の
給与の底上げなどにもこども家庭庁の予算を割り当てていくことはありだ
な**と思った。

もっとスピード感をもって、みんなが目に見えて「助けられているな」と思うくら
いまで支援する必要がある。

こどもが生まれてから小学校に入るまでの支援が手厚く、そのあとの意見が出たが、
赤ちゃんはか弱い存在なので、支援が手厚いのは妥当な
のではないかと思う。

こどもがいかに真ん中であるかが大切であり、**親の支援についても、いかに
こどもが真ん中・中心になっているかの視点で進めるかが大切。**

所得を増やすためには、高等教育を受ける必要があるため、**最も注力する
べきなのは、授業料の免除だ**と思う。

**保育士の方にとっても奨学金がある場合には、返済しながら働くことは
酷ではないか**と思った。



1. 概算要求全体像 (7/7)

- こども家庭庁では、今後、こども未来戦略方針に沿って、こども予算の充実に取り組むこととしていますが、こうした方向性についてどう思いますか。

大学生世代～社会人

こども未来戦略方針マップを見たが、自分がこどもを育てることを想像すると、見知らぬ人に攻撃される社会であることが怖い。**こどもに関する知識のアップデートや学びなおしを義務化できたらよい**と思う。

こどもができたとき、自分みたいな公務員であればまだ安心して育てられるが、**派遣社員やパートタイム社員の方であれば、自分の生活のことで手いっぱいになる**と思う。

夫が産休や育休を取ったとしても、**子育ての中心は母親になることが多い**と思うので、**精神的に追い詰められた時などカウンセリングが受けられる制度や仕組みがあればよい**。

マップでは**相談員が言及されているが、相談員の人がどれくらい給料もらっているか気になる**。やりがいも大事だが、給料をあげることも大事だと思う。

マップを見ると**幅広い世代に方針が充てられている**。少子化対策をしていくと謳っている割には、予算金額が十分でないうえ、ターゲットも本質的でないと思った。

マップの始まりが妊娠であることに驚いた。

自分は、正直子育てがどれくらい大変なのかわからず、マップの最初にある**「伴走型相談支援スタート」のタイミングで、子育ての大変さや必要な配慮等を知ることができる機会を提供することが大事**だと思った。

自分の周りでも、男性が、母親側がどういう状態で子育てしているのかわからないで発言しているのを見かける。**高校生や大学生の時点で、知識を得ておくことが大事**だと思った。



社会人

周りに妊活している人が多いが、「**お金を貰いたい**」よりも「**取らないで欲しい**」と思っている。

待機児童のことや、休職することもあるかと思うと出費もかさむので産むという選択肢はなく、**経済的な理由でこどもを産むことを考えられない**。

貰える分もあるが取られる部分が多く、**所得制限もあるのでこどもを育てることは割に合わない**。

保育士の立場からすると無償化にする場合の負担に値するお金を貰っていないと思う。

誰でも通園制度は色々課題があるのに、ただやることだけ言われていて不安である。

大学の学費の負担が軽くなるならこどもを産むことは考えられる。

児童館や児童クラブの先生は非常勤が多いので、常勤職員を増やして様々な業務に対応できるようにしてほしい。



2. こどもの居場所支援

- 広報啓発に関して、どのような広報であれば、効果的だと思いますか。
- みなさんはこどもの居場所を増やしていくために、国としてどのような支援があると良いと思いますか。

効果的だと思う広報のありかた

みんなに知ってもらうためには、多くの人が見る場所が良いと思うので、テレビ広告等で紹介したらいいと思う。(小学生～中学生)

みんなに知ってもらうためには、小学生がよく見るYoutubeにおいてチャンネルを作って発信して、こども家庭庁に関することを紹介したら良いと思う。(小学生～中学生)

最近はTikTok等のアプリがあるが、よく使うアプリに広告が出てきたら広まると思う。Youtubeを見ている人が周りには多い。Youtubeの広告はスキップできるので見ない人がいるが、有名なYoutubeとのコラボの広告や、アニメっぽい広告で告知して、織り交ぜたらいいかもしれない。(小学生～中学生)

居場所を増やすために必要だと考える国からの支援

実際の場所だけでは無い場所も居場所になると思う。自分の学校では、4年生から学童に行けなくなる子がいて、家で留守番をしている子も多いので、オンラインで集まれる場所があるとよい。(小学生～中学生)

地域の中で自分の居場所があると良い。自分の居場所がいつでもあると安心できると思う。(小学生～中学生)

私の住んでいる地域では、幼児や小学校低学年が遊べる場所は多いが、中学生や高校生の居場所が少ないと感じる。同じ学年くらいのこどもが集まって、自分のしたいことができるところが居場所だと思う。(中学生～高校生)

小学生の学びや遊びの場が少なくなっている。そこで、私は今年の8月頭に小学生の居場所を開いてみた。小学生が40名程度集まってくれて、高齢者の方がこども達の宿題を見てくれた。小学生でも中学生でも、こどもの居場所は必要なのだなと実感した。(中学生～高校生)

学校にゲームなどを置くことはできないのか。私の学校にある放課後の居場所は楽しいが、人が集まらなかったり、すぐに帰ってしまう人がいたりするため、盛り上げるためにゲームなどを置けないのかなと思った。(中学生～高校生)



3. こども食堂支援

- こども食堂を知っていますか。実際に、こども食堂に行ったことはありますか。
- こども食堂は、どのような場所にあると行きやすいですか。
- どのようなものが必要ですか。（どのようなものが配布されると良いですか。）

こども食堂について知っていること

こども食堂は、家がなくて食べ物が無いこどもに、ご飯を無償で提供している場所だと思う。（小学生～中学生）

こども食堂では、家では宿題をする時間がないこどもが宿題や勉強をすることもできる。（小学生～中学生）

私の住んでいる市区町村には、高齢者施設に行き、高齢者と触れ合いながらこども食堂をやるという企画がある。こども食堂をやる前に高齢者と触れ合うことができるため、この企画の参加者は、高齢者施設で働いている職員にも興味を持つかもしれないと思った。（中学生～高校生）

私の地域には、こどもの居場所として、寝泊りができるこども食堂がある。家ではない居場所としてこども食堂がある。お金はかかると思うが、安い値段で泊まれると思う。（中学生～高校生）

どのような場所にこども食堂があると行きやすいか

家の近くにあると行きやすくて楽だと思う。（小学生～中学生）

駅や大型ショッピングモールの近くにあると行きやすい。（小学生～中学生）

こども食堂は誰でも行っていいものであるが、それを知らない人が知った時には「この人は親がいないんだ」と思われてしまうので、あまり人目に付かない場所にあった方が行きやすい。（小学生～中学生）

こども食堂についてあまり知らない人は、生活困窮者が利用するイメージが強く、自身が利用するハードルが高いのではないかと思うため、そのハードルをなくすことが大切ではないかと思う。学校や家などに、「誰でも利用できます」と目立つように記載したこども食堂のチラシを配ることで、利用が増えるのではないか。（中学生～高校生）

こども食堂に必要なもの

出てくるご飯はこどもに人気があるものだとよい。地域の食材を地産地消できる料理を作ってほしい。（小学生～中学生）

健康のために野菜ジュースや、他にも問題集・マンガがあると良いと思った。（小学生～中学生）

キャラクターやアニメグッズがあれば、自分も行ってみたいと思う。（小学生～中学生）

災害があった時用に、備蓄用の水や保存食などを配ったら良いのではないかと思った。（中学生～高校生）



私の住んでいる地域では、「こども食堂」と「だれでも食堂」というのがある。「だれでも食堂」では、その場で食べることも食べ物を持って帰ることもできて、誰でも使える。（中学生～高校生）

こども食堂には行ったことがないが、文房具などを配ってくれると利用が増えると思う。中学生になると、文房具に拘る人が増えるため、「あそこに行く」と文房具がもらえるよ」となると、利用が増えると思う。シャーペンや消しゴムなどが魅力的だと思う。（中学生～高校生）

4. こども政策DX 自治体のDX推進について

- 市役所や区役所の手続きは、手書きで行う手続きがまだ多くあります。デジタル化やオンライン化などのDXを進めるためには、何が重要だと思いますか。

重要なことについて

DXへの理解

上層部になるとITを嫌う方は保育業界に多い。(社会人)

オンラインに否定的な上の世代の理解を得ることが必要。
(大学生～社会人)

国民がミスを許すという雰囲気をもっと作っていかないと、ITが発展しないと思う。(大学生～社会人)

行政のつくるサービスはUIが悪いイメージなので、デジタル化に後ろ向きになる気持ちは分かる。(高校生～大学生)

リテラシーの向上

職員の中にはITリテラシーが低く、パソコンが苦手な人もいます。また、ITリテラシーをあげる教育の場が少なく、個人情報の観点から準備に2,3年かかる。(社会人)

情報の見分け方などについての教育をしっかりとってから、デジタル化することが必要。(高校生～大学生)

DX特区の設置

DX特区をつくるのも面白いのでは。例えば、IT関連の企業で働きPC操作に慣れていての方が多くエリアで試験的にデジタル化をして改善点を練るのもよさそう。(高校生～大学生)

アナログとの併用・段階的な導入

紙媒体からデジタル媒体に変える手間もすぐかかるだろうし、変えるときにはミスが多くなりそう。段階的に変えることも視野にいれることが重要だと思う。一気にデジタル化をすると、情報が埋もれて分からなかったり、嘘と本当を見分ける力がまだ足りていなくなったりする。
(高校生～大学生)

オンラインが得意な人もいれば、アナログで今まで通りの手続きをするのに慣れている人もいます。いろんな人を想定することが必要で「完全にアナログでの手続きは辞めます」とするのは良くないと思う。
(高校生～大学生)

制度・運用上の課題

システム導入を検討する立場にいますが、企業のシステムを公共領域で導入するのは難しい。予算や補助金はあるが制度が複雑なので簡単に使えない。(社会人)

情報漏洩などの問題が生じた際に誰の責任を問うのかに注力するのではなく、問題が生じた際の対処方法を考えるなどリスク管理をする前提で検討していくことが大事。(大学生～社会人)



4. こども政策DX こどもDX見本市について

- これまで、お父さん・お母さん・先生などが、手続き等で大変そうにしている様子を見たことがある人もいます。どのようなサービスがあったらお父さん・お母さん・先生などが助かると思いますか？
- DX見本市にどのようなセミナーやイベントがあったら、盛り上がると思いますか？

みんなが助かるサービス

自治体窓口について

ちょっとした申請であれば、デジタルでも判子に代わる自分のサインのようなものを使えるようになれば良いと思う。(高校生～大学生)

平日の仕事終わりに手続きに行きたくても役所が開いていない。週のうち平日のどこかのオープン時間を伸ばすのもいいのではないだろうか。(高校生～大学生)

スマホで簡単に手続きできたり、自治体が持っているデータの提出を不要としたり、オンライン上で一括して手続きを進められたりすれば、迅速なことも支援につながると思った。(大学生～社会人)

教育・保育施設について

ICT化によって保育園だけではなく、小学生～高校生までデータを引き継げることができれば良い。こどもの次の学校に送る書類(要録)を作るのが大変であり、データで引き継げるならば見返せるので良いと思う。(社会人)

書類のフォーマットは国も決めているが、教育・保育の現場では使いにくいフォーマットで来るので、地域にあうように手直しが必要になっていく。アンケートのような選択でフォーマットを選べるともっと楽になると思う。(社会人)

園のシステムが統一されると、他の園に移動しても対応できるので慣れれば楽だと思う。園によって書類が違うこともあるので、ICT化で管理しやすくしたい。(社会人)



DX見本市を盛り上げる方法

コンテンツについて

外部のSNSや動画を駆使してビッグデータなどの専門家が世間に解決策を周知するようなセミナーなどがあると、バズって国も新しい方法を発掘できるかもしれない。(大学生～社会人)

一方的にデジタル化について話されているだけだとつまらないので、自分もGoogleをつけて体験することなどができるといいと思う。(高校生～大学生)

専門外の人に来ないのであれば、見本市に面白い要素は求めず、自治体の人にとってわかりやすい説明を追求すればいいと思う。(高校生～大学生)

メタバースのように、仮想空間で自分が自由に歩き回れるような見本市であれば、遠くにいても目的を果たすことはできると思う。(高校生～大学生)

開催方法について

現地参加とオンライン参加では情報の受け取り方が違うので、両者の差異を埋められたらと思う。オンラインだと講演の配信などに限定されていて勿体ない。(大学生～社会人)

地方に住んでいると交通網がなかったりして対面のイベントに参加しづらいので、地域ごとにイベントを開催してできるだけ対面で参加できるようにしてほしい。(高校生～大学生)

5. こどもデータ連携 (1/2)

- みなさんは生活で困ったことがあったときに周りのおとなに相談したくてもできないと感じたことはありますか？
- いじめや不登校、虐待で困ったときに相談できる機関が地域にあることを知っていますか？

相談できない理由について

相談したいと思わない

相談したくない、言いたくないという気持ちがあり、相談しようと思わなかった。(高校生～大学生)

当時は自分のことで精一杯で、相談する余裕もなかった。相談しても大人を信じるができない。相談したら、こどもたちに広められて、悪化するのではと心配になる。(高校生～大学生)

大人への信頼を失くすもっとも大きな要因・きっかけは、小さなアプローチを教員などの大人にしたときに、気づかれないことだと思う。(高校生～大学生)

相談できる環境でない

スクールソーシャルワーカーという専門職がいるが、私が住んでいる地域では2～3校あたり1名程度しかいない。(高校生～大学生)

中学の頃スマートフォンを持っていなかった。インターネット環境がない人は、なかなか相談先を知ることができない。(大学生～社会人)

相談したが解決しなかった

学校でこども人権SOSの案内が配布されていたのでお手紙を書いたら、その返信が何の解決にもならない「がんばってね」というようなものだった。(高校生～大学生)

中学生の頃、担任の先生に自分の意見を紙で伝えたことがあるが、声で直接伝えるようにと言われて何の解決にもならず、どうしたらよかったのかわからなかった。(大学生～社会人)



相談できるという認識がない

こどもが、自分が相談をしてもいい対象だと認知することが大切。相談機関が地域にあることを知っていても、相談していいのだと思っていない人がいる。(高校生～大学生)

「児童相談所、こども家庭総合支援拠点、こども家庭センター」は機関としてのイメージが大きく、身近ではないし大事になってから動くイメージなので、どのように思ってもらえるかが大事だと思う。(大学生～社会人)

幼いころは家庭内のことについて、相談できる場所を知らなかった。(社会人)

その他相談に関する提案

アメリカでは、いじめている側にカウンセリングをして対処する。そういう全体の抜本的な教育というか「だからいじめをしちやいけなんだよ」とお金をかけて教えていく必要があると思う。(高校生～大学生)

保育園児は相談できる機関がないと思う。幼い人も相談できる機関があればいいと思う。(高校生～大学生)

児童館もそこに来ている子も学校とは違い、大人とこどもが近い距離で過ごせる場所だったので、相談できる場所としてはありかなと思う。(大学生～社会人)

学校に話が広まるのがいやであれば、地域での第三者機関が必要。(高校生～大学生)

気が向いたときに話せるインターフェースのようなものがあればよいと思った。(高校生～大学生)

5. こどもデータ連携 (2/2)

- 地域の相談機関などが持っているデータを連携してSOSを出せないこどもや家庭に支援を届ける取組についてどう思いますか？

データ連携について

データの連携先について

最後のセーフティネットとしては、介入力のある警察などが適切だと感じる。児童相談所に虐待の情報等が入った時点でもっと迅速に警察などに連携することが重要だと思う。(大学生～社会人)

将来的に監視カメラのように、カメラがこどもを見て、自動で状況を判別して見相にアラートを出すことができるとより良いと思う。(社会人)

データの収集について

先生達がこどもの体型や私服から気付けることがあっても、個人情報の問題があるので大事になってしまうと葛藤することもある。そのため、異変に気づいた保育士が状況を言える場所が必要である。(社会人)

実際にこどもの様子を見ている人の情報を複数集められるような環境がほしい。人も足りていないが、実際に現場を見ている人の力が必要である。(社会人)



データの活用方法について

支援のありかたによっては、見えないSOSを悪化させる恐れがあるのではと思う。例えば「児童相談所の職員が家に来た」となると、保護者は不安になり、その不安をこどもに押し付けたりするかもしれない心配である。(高校生～大学生)

問題のあるとされる家庭にのみ訪問するのではなく、一歳検診のように一律で家庭訪問をすれば、発達支援や悩みを聞くことに繋がるだろう。(高校生～大学生)

データ連携について、いじめに関してはされている側にフォーカスされているが、いじめをする側の対処について気になる。(社会人)

データ連携にあたり留意すべきこと

むやみにデータを使うことで、自分のことが知られてしまう恐怖感についても議論する余地がある。(高校生～大学生)

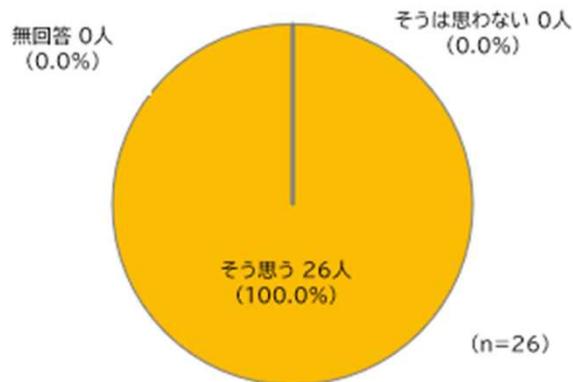
あまりにデータを持ちすぎると、虐待をしている親から「プライバシーの侵害では」と情報を集めることを阻害されるかもしれない。保護者から訴えられないような対策もするべき。(高校生～大学生)

データ連携をする以上は、セキュリティ面で情報漏洩が起きないようにする必要はある。(大学生～社会人)

データを生かすこと自体は大事だが、学校の負担が大きすぎると大変なので、関係機関がサポートしていく必要がある。(大学生～社会人)

参加者アンケート (一部を抜粋して掲載)

「いけんひろば」に参加してよかったと思いますか？



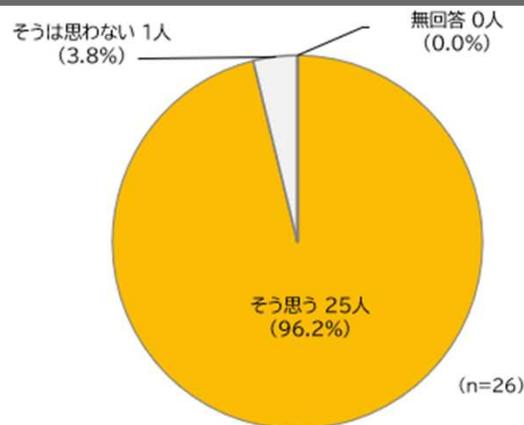
「そう思う」の理由 (自由回答)

直接国の担当の方と議会等で話したような難しい言葉ではなく、自分の言葉で思いを伝えられたこと (もちろん伝える言葉に責任は持っています!) 何よりも嬉しく、同じ「こども」について考えている方たちと意見交換ができたことは自分の収穫にもなりました。

こども家庭庁のこと勉強出来たのでよかったです。

意見がとても言いやすかったし、同じグループに人も意見を出したらリアクションをしてくれて、話しやすい環境だったから。

今日の「いけんひろば」では、自分が話したいと思ったことを言えましたか？



話したいと思ったことを言うのがむずかかった理由や、言い足りなかったこと (自由回答)

お互いの関係が作れていなかったため、発言が難しかった時間もあった。

緊張で言い出すことがほとんどできなかった。

強いて言うならば、通信環境が悪かったため、音声だけの参加になってしまい、表情や、ジェスチャーを使えたらもっと伝わりやすかったと思う。

そのほか、今日の「いけんひろば」について、気づいたことや感想を教えてください。

勉強会のときは資料が分厚くて緊張したが、読み込んでから自分の経験を交えながら当日話し合いができてよかったと思った。

今までで一番いい話し合いと思うぐらい、有意義な話し合いでした。また、意見広場に参加したいです。今日話したグループの人ともまた意見を出し合いたいです。

オンライン上で話せることは、自宅などで参加できるため良いと思った。しかし、関係性がうまく作れないので、お互いのことをあまり知らないまま発言をしなければならなかった。アイスブレイクがもっとできるとよかった。